

ユニバーサル・ラン 〈スポーツ義足体験授業〉



私たちには一人ひとり、性別や年齢、人種、国籍、障がいの有無、性的指向など、異なる属性や特徴があります。多様な人びとがお互いを尊重し、誰もがいきいきと暮らすことができる「ユニバーサル社会」の実現に向け、今世界全体で取り組みが加速しています。

LIXILは、誰にとってもわかりやすく、使いやすい製品やサービスを提供する「モノのユニバーサルデザイン」とともに、自分とは違う誰かを思いやり、配慮できる「心のユニバーサル」を推進する活動に取り組んでいます。

当授業は、スポーツ義足の体験や義足アスリートとの交流、講義を通じて、誰もがいきいきと暮らせる社会のあり方やユニバーサルデザインについて考える機会を提供しています。子どもたちは義足を体験することで、義足を使いこなすアスリートのすごさや努力を実感するとともに、障がいのある人やその暮らしを知り、異なる視点から社会を見つめ直すことができます。

対象 小学校5・6年生

関連する教科 総合学習の時間、道徳、国語、社会、体育

ねらい 年齢、性別、国籍、障がいの有無などの多様性に関する理解を深める。

写真左：佐藤圭太選手 / 陸上競技短距離 / トヨタ自動車所属
写真右：山下千絵選手 / 陸上競技短距離 / SMBC日興証券所属

指導案
45分
×
2コマ

1時間目

● 体験・実技

- ・義足アスリートの紹介*
- ・義足についての説明
- ・準備体操
- ・スポーツ義足の体験

*不在の場合もあります

2時間目

● 座学

- ・スポーツ義足に関する学習
- ・「多様性って何だろう？」を考える
- ・共生社会に向けて、みんなにいい暮らしを考える
- ・グループディスカッション

授業風景・講義資料



池田樹生選手 / 陸上競技短距離 / デジタル・アドバイジング・コンソーシアム(株)所属

参加者全員が、スポーツ義足を体験。義足アスリートが先生となり、義足の使い方や歩き方を教えてくれます。スポーツ義足の難しさを体験し、義足アスリートの様子を間近に見ることで、義足アスリートのすごさや努力を実感します。

世界の義足を使うひとたち

	日本	約 万人 (人に1人)
	アメリカ	約 万人 (人に1人)
	インド	約 万人 (人に1人)
	世界中	約 万人 (人に1人)

LIXIL

実はメガネって・・・



LIXIL

講義では義足について学んだり、グループディスカッションを通じて多様性の理解を深めます。義足アスリートの体験談も交えながら、みなが暮らしやすい社会について考えます。

授業を受けた子どもの感想

- これを使いこなす選手ってすごい！努力の大切さを知った
- 義足でも不便なことはなく、ほとんど変わらないことがわかった
- 明るく楽しそうに夢を話す先生を見て、自分も簡単にあきらめずに頑張ろうと思った
- これからは義足の人もそうでない人も、困っている人がいたら助けてたい

先生の感想

- 子どもたちが、様々な立場の人の存在を、自然な形で受け入れるようになった
- 子どもたちに、障がいのある人への偏見がなくなった
- 子どもたちの目の輝きが違った
- これまで総合学習で学んできた福祉のテーマとつながり、理解が深まった

講師を務める義足アスリートからのメッセージ

- 夢の大切さ、パラスポーツの魅力を伝え、子どもたちの障がい者に対する意識や考え方を変えたい
- 義足になって初めて知る世界がありました。この授業をきっかけに、子どもたちにもいろんな世界を見て、知って、そして自分の世界を広げてほしい
- 義足の人もそうでない人も、一緒にスポーツをする時間を過ごしながら、世の中にはいろんな人がいて、それも普通なんだってことを感じられる機会であってほしい